

茨木市の地域コミュニティに関する
アンケート調査
〔A調査〕

報 告 書

令和 2 年（2020 年）3 月

茨木市市民協働推進課

調査概要

1 調査目的

策定から7年が経過した茨木市地域コミュニティ基本指針に掲げる地域コミュニティの活性化に向けた方策の現状を把握するとともに、社会経済情勢の変化等を踏まえた地域コミュニティのあり方などに関して、地域自治組織、地区連合自治会、コミュニティセンターの各代表者から率直な意見等をお聞きし、今後の地域コミュニティに対する取組の重要な基礎資料とすることを目的とする。

2 調査方法

(1) 調査対象

茨木市内の地域協議会、地区連合自治会、コミュニティセンター各代表者
63人のうち重複者（11人）を除く、52人

(2) 配布・回収方法

郵送による配布・回収

(3) 調査期間

令和元年（2019年）8月7日（水）～9月6日（金）

＊期間終了後、一定期間（約2週間程度）回収し、報告書に反映

3 回収結果

回答者数：39人

回収率：75.0%

4 集計方法について

- ・「不明」とは無回答または回答が読み取れないものを示す。
- ・単一回答の設問について複数の回答があったものは、無効回答とせず、回答した選択肢番号の最も若い番号の選択肢を回答したものと見直して集計している。
- ・「その他」については自由記述記載内容を取りまとめ、整理し、一部抜粋するなどして記載している。

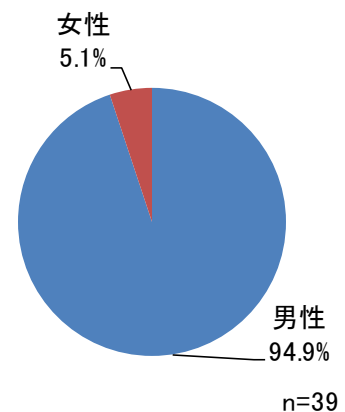
調査結果

1. ご自身のことについて

問1 回答者の属性

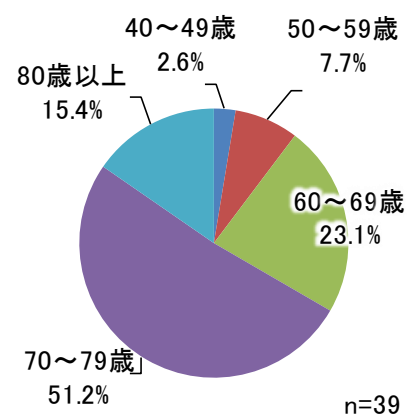
【性別】（単一回答）

回答者の性別については、「男性」（94.9%）、「女性」（5.1%）となっている。



【年齢】（単一回答）

回答者の年齢については、「70～79 歳」（51.2%）が最も多く、次いで、「60～69 歳」（23.1%）、「80 歳以上」（15.4%）となっている。



問2 【所属する地域組織での活動経験年数を記入してください】

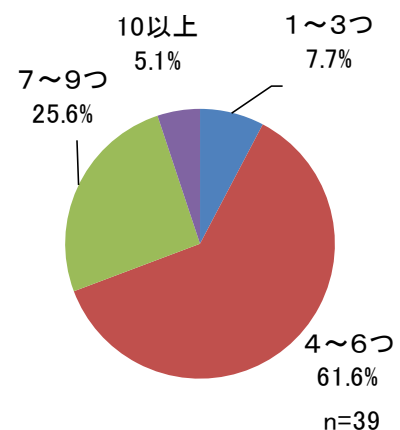
（複数の地域組織に所属している場合は、3つまで）

記載された活動経験年数の平均は 9.4 年であった。回答が多くあった組織は、地区連合自治会、地域自治組織、コミュニティセンター、自主防災会、単位自治会、公民館である。

問3 【いくつの地域組織の役員などを担っていますか】

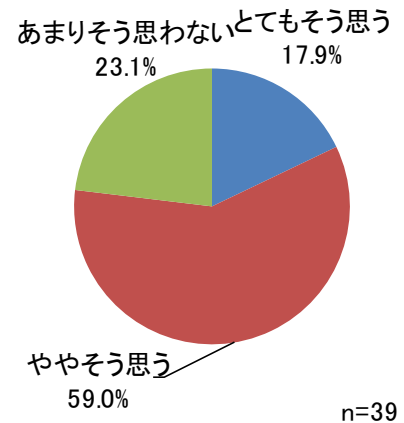
（単一回答）

地域組織の役員の兼務状況については、「4～6つ」（61.6%）が最も多く、次いで、「7～9つ」（25.6%）となっている。



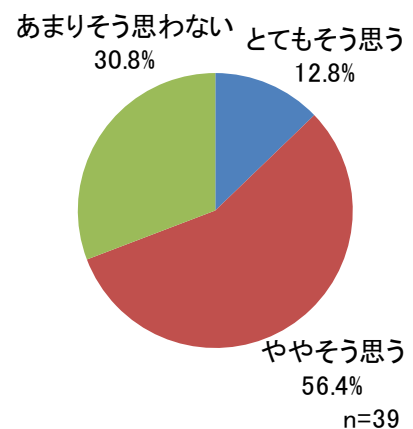
問4【地域住民の交流・連携が進んでいると思いますか】
(単一回答)

地域住民の交流・連携の進展については、「ややそう思う」(59.0%)、「とてもそう思う」(17.9%)を合わせると、回答者の76.9%が地域住民との交流・連携が進んでいると思っている。



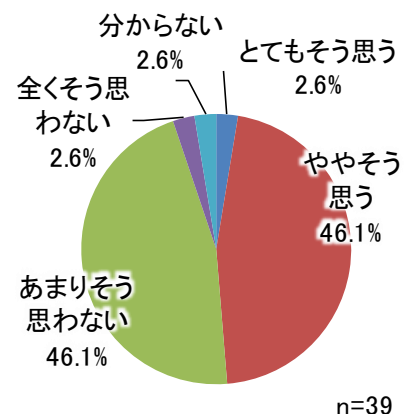
問5【各地域組織の連携が進み、地域コミュニティが活性化していると思いますか】 (単一回答)

各地域組織の連携・地域コミュニティの活性化については、「ややそう思う」(56.4%)、「とてもそう思う」(12.8%)を合わせると、回答者の69.2%の方が地域コミュニティが活性化していると思っている。



問6【地域住民が自ら地域づくりを進めようとする意識が高まっていると思いますか】 (単一回答)

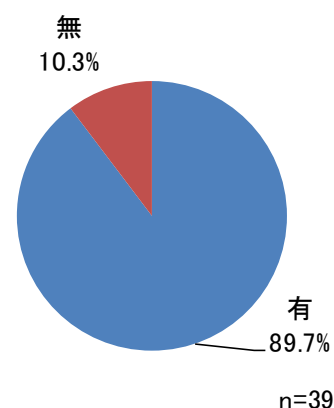
地域住民の地域づくりの意識の高まりについては、「ややそう思う」、「あまりそう思わない」が、ともに46.1%となっている。



2. 地域が行っている取組について

問7【地域住民や地域組織が集まって情報交換をし、地域における課題や諸問題について「話し合う場」がありますか】（単一回答）

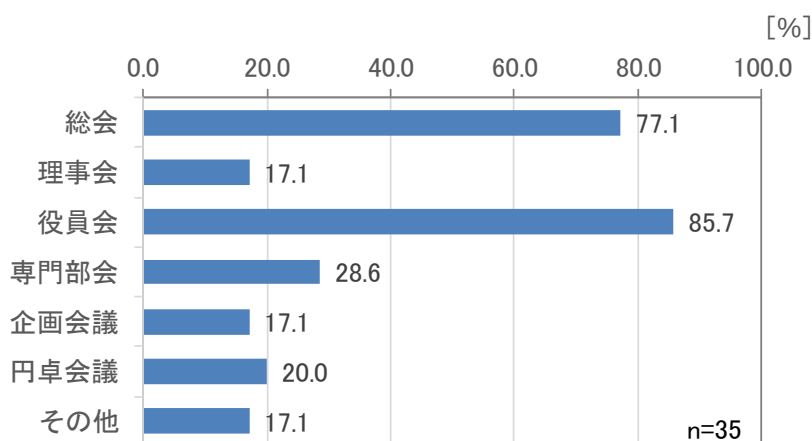
話し合う場については、「有」（89.7%）となっている。



問8-1【それは、どんな「場」ですか】（複数回答）

（前問で「有」と回答した方のみが回答）

話し合う場については、「役員会」（85.7%）が最も多く、次いで、「総会」（77.1%）となっている。



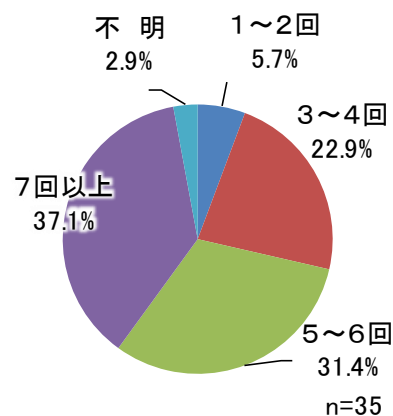
その他回答内容（一部抜粋）

各種団体連絡会議／関係団体合同会議／月例会議 等

問8-2【「話し合う場」は、年間、どの程度、開催していますか】（単一回答）

（前問で「有」と回答した方のみが回答）

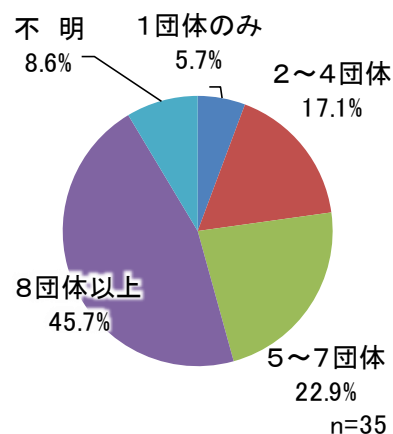
話し合う場の開催の頻度については、「7回以上」（37.1%）が最も多く、次いで、「5～6回」（31.4%）となっている。



問8-3【「話し合う場」には、どの程度の主体が参加していますか】（単一回答）

（前問で「有」と回答した方のみが回答）

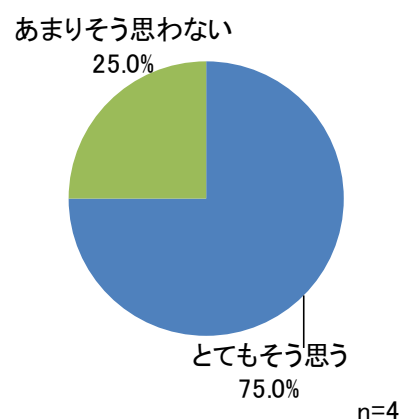
話し合う場の主体の数については、「8団体以上」（45.7%）が最も多く、次いで、「5～7団体」（22.9%）となっている。



問9【地域住民や地域組織が集まって情報交換し、地域における課題や諸問題について「話し合う場」は重要だと思いますか】（単一回答）

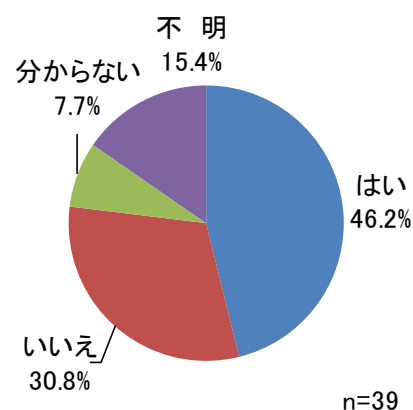
（問7で「無」「わからない」と回答した方のみ回答）

話し合う場が重要かどうかについては、「とてもそう思う」（75.0%）が最も多く、次いで、「あまりそう思わない」（25.0%）となっており、「ややそう思う」、「全くそう思わない」の回答はない。



問10【所属している地域組織の活動において、様々な年代の地域住民の方々が参加していただけるような工夫をされていますか】（単一回答）

様々な年代の地域住民が参加する工夫については、「はい」（46.2%）が最も多く、次いで、「いいえ」（30.8%）となっている。



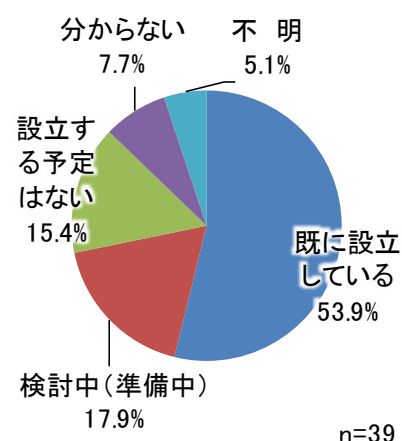
「はい」と回答した方の具体的な工夫内容（自由記述・一部抜粋）

働きかけ	・各事業の案内を回覧、配布 ・PTA 役員経験者への呼びかけ ・校区夏祭り、文化祭、地区体育祭の案内を全戸配布 ・公民館広報（月刊）に掲載を依頼し、地域全戸（自治会員）配布 ・地区体育祭や校区夏祭では全住民の自由参加を呼びかけ
活動内容	・若い世代対象の親子料理教室 ・文化展、運動場（グランドゴルフ、他）で多世代が参加 ・コミセンフェスタでの、もちつき大会、物産販売、公民館講座の発表会等、七夕映画会、焼きそば、焼き芋の夜店を実施 ・地域協議会主催の「ふるさと祭り」において、地域の幼稚園や放課後子ども教室の児童による催しや、やぐらを中心とした踊り、模擬店の設置など老若男女が参加しやすい内容となるよう工夫

連携	・地域内の関係する団体の事業を有機的に連携できるよう企画 ・地区防犯訓練への、地区内所在大学生サークルの参加 ・放課後子ども教室（小学生）と老人クラブとの共催事業（ニュースポーツ等） ・単独で開催していた行事を合同で開催することにより多世代が参加できている。例えば地区敬老会 ・こども会と連携した防災訓練に向けた「的づくり」を開催。防災委員と小学生の防災意識の向上とスキルアップのため「防災教室」を開催
----	---

問１１【地域組織間の連携・協働を促す総括的な組織として、地域自治組織（地域協議会）づくりを進めていますか】（単一回答）

地域自治組織（地域協議会）づくりについては、「既に設立している」（53.9%）、「検討中（準備中）」（17.9%）、「設立する予定はない」（15.4%）となっている。

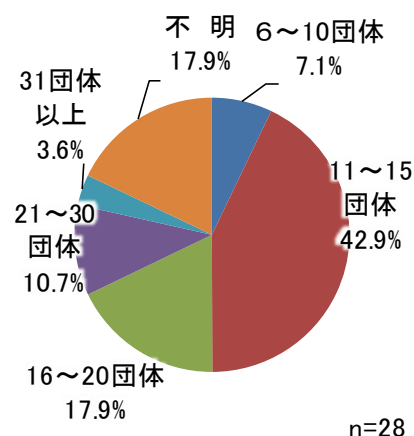


問１２－１【あなたが住まいの地域における地域組織の数と地域自治組織（地域協議会）を構成する団体数を記入してください】（単一回答）

（問１１で「既に設立している」「検討中（準備中）」と回答した方のみ回答）

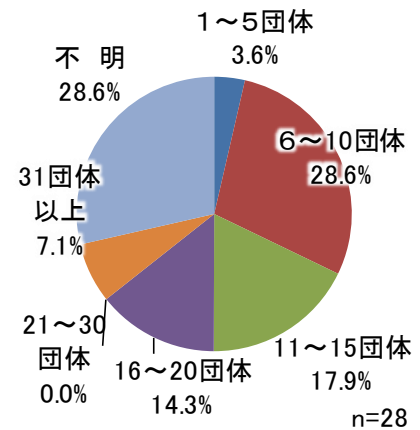
【地域組織の数】

地域にある組織の数については、任意で5団体ずつ枠を設けて集計したところ、「11～15 団体」（42.9%）が最も多く、11 団体以上を合計すると、75.1%となっている。



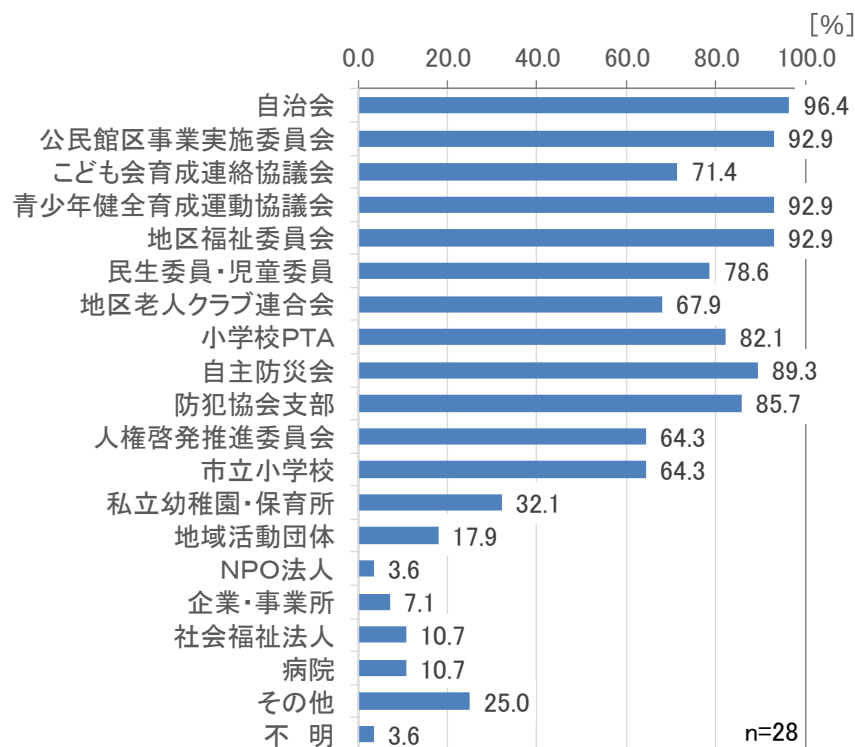
【地域自治組織の構成団体数】

地域自治組織の構成団体数については、任意で5団体ずつ枠を設けて集計したところ、「6～10 団体」（28.6%）が最も多く、11 団体以上を合計すると、39.3%となっている。



問12-2【地域自治組織（地域協議会）を構成する具体的な団体について】（複数回答） （問11で「既に設立している」「検討中（準備中）」と回答した方のみ回答）

地域自治組織（地域協議会）を構成する具体的な団体については、「自治会」（96.4%）が最も多く、次いで、「公民館区事業実施委員会」（92.9%）、「青少年健全育成運動協議会」（92.9%）、「地区福祉委員会」（92.9%）、「自主防災会」（89.3%）、「防犯協会支部」（85.7%）となっている。



その他回答内容（一部抜粋）

保護司／茨木市スポーツ推進委員／日本赤十字奉仕団／青少年指導員会／子ども安全見守り隊／放課後子ども教室実行委員会／人権地域協議会／神社／コミセン運営委員会／少年院／入管センター 等

問12-3 【地域自治組織（地域協議会）において、地域の特性を踏まえ、これまでに実施したあるいはこれから実施しようとしている取組】（自由記述）

（問11で「既に設立している」「検討中（準備中）」と回答した方のみ回答）

【これまでに実施した特色ある取組】（自由記述・一部抜粋）

広報の工夫	・HPの作成 ・地域情報誌を年2回発行（全戸配布） ・地域情報誌を年4回発行（内1回は地域内全戸に配布） ・地域情報誌を年2回発行（各自治会と小学校全校生徒に配布） - 編集委員会を年6回開催 ・毎年、年度初めに「小学校区主要行事予定」を発行し、「協力体系づくり」を働きかけ、年度終りには「主要活動実績報告」を発行し、「協働の重要性」を訴求
備品・設備	・地域協議会で地域行事に必要な備品の購入、作成（テント、冷水器等の購入・案内幕の作成） ・老朽化した盆踊り大会の電線新調、太鼓修理をし、住民の安全とコミュニティの場に貢献している。 ・ふるさと祭盆踊り大会での電気配線の更新費用を負担
連携の工夫	・各種団体懇親会の開催（年1回） ・民間事業者が地域行事のスタッフとして協力 ・防災会、公民館行事を地域協議会との共催で開催し、担い手の確保や、行事資材の購入を支援 ・小学校、自治会、コミセン、公民館等の周年事業を連携して実施し、広く住民が参加
イベント	・講演会の開催 ・こども会ドッジボール大会を共催し、活動支援 ・夏まつり、文化祭、スポーツレクリエーション大会等、合同で開催 ・夏祭り、地区体育祭、青色パトロール、防災訓練等、担い手の確保、参加者の増加に取り組んでいる。 ・地域行事において、各組織に協力をいただいている他、参加者の増加に取り組んでいる。
その他	・地震後に買物支援を実施（週2回） ・まちづくり協議会HPを作成、2018年度グッドデザイン賞受賞（地域コミュニティ部門）

【これから実施しようとしている特色ある取組】（自由記述・一部抜粋）

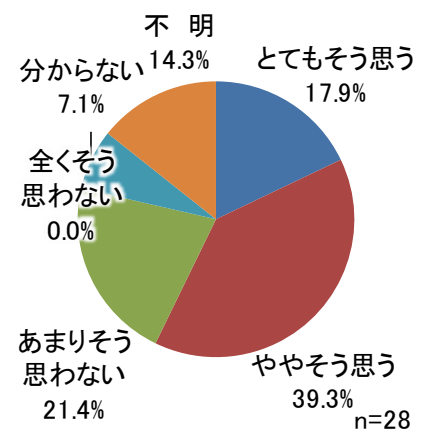
広報の工夫	・地域自治組織の目的PR（各組織からの委員への啓発） ・地域情報誌の今後の検討課題として、もっと身近なタイムリーなものにしたい。 ・地域活動の進捗状況に関して、活動結果をお知らせも大事にしたいが、常時共有できるよう創意工夫することが重要。「ホームページ」の創設と活用
運営の工夫	・公民館講座の輪を広げる。 ・地域課題への取り組み、研修会 ・担当課を交えての話し合いの場を設ける。

	・子どもからシニアの年代の参加できるよう、行事計画を立てる。 ・地域自治組織の活動拠点のあり方に関して、研究、研修の場を設けたい。 ・H30年に2回「地域の課題ワークショップ」を開催。意見交換ができた。しかし、具体的な取り組み内容までには至らなかった。できれば今年もう一度、チャレンジし、マンパワーの確保ができればと思っている。
連携	・地域団体との合同事業 ・こども会育成会への応援 ・地域が主体となり各団体とも協議（できるだけ数回） ・地区敬老会と地区文化展をジョイントさせ、「総合地区文化交流会」の場として拡充する。
イベント	・青少年健全育成の場として、青少年主体の活動の場を創出する。

問12-4【地域自治組織（地域協議会）は、地域課題の解決に向けた企画・立案、実践の中心的役割を担っていますか】（単一回答）

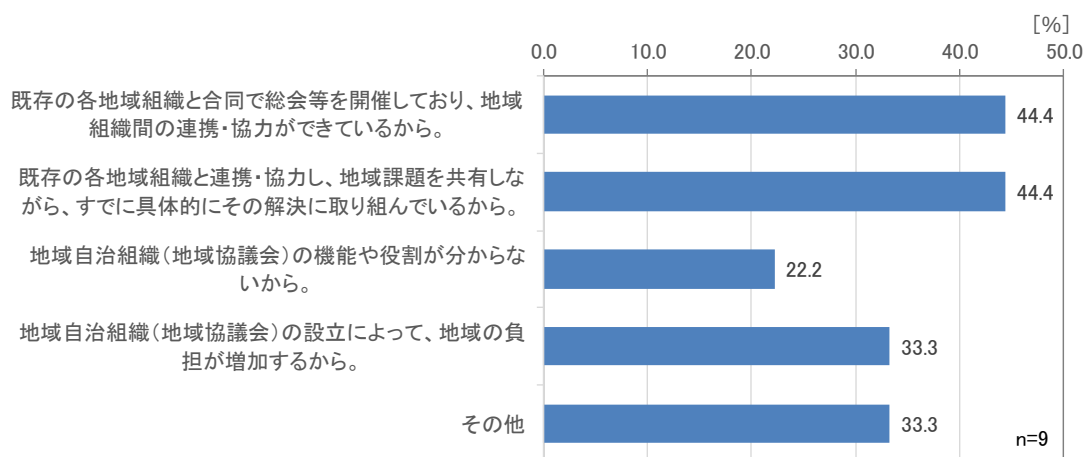
（問11で「既に設立している」「検討中（準備中）」と回答した方のみ回答）

中心的役割を担っているかについては、「とてもそう思う」（17.9%）、「ややそう思う」（39.3%）を合わせると、回答者の57.2%が中心的役割を担っていると思っている。「全くそう思わない」と回答した人はいない。



問１３【地域自治組織（地域協議会）づくりを進めていない理由について】（複数回答）
（問１１で「設立する予定はない」「分からない」と回答した方のみ回答）

地域自治組織づくりを進めていない理由については、「連携・協力ができている」、「具体的にその解決に取り組んでいる」が、ともに 44.4%となっており、次いで、「地域の負担が増加する」（33.3%）となっている。

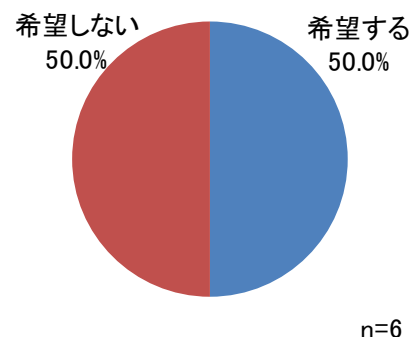


その他回答内容（一部抜粋）

団体間の合意形成に至っていないため
行政からの助成金を目的とした組織づくりが必須と思えないため
各地域組織と自治会の協議ができないため
公民館のコミセン化、地域協議会を受け皿とした指定管理者としての継続的な組織づくりの具体策がまとまっていないため、設立準備委員会は設置、休眠中

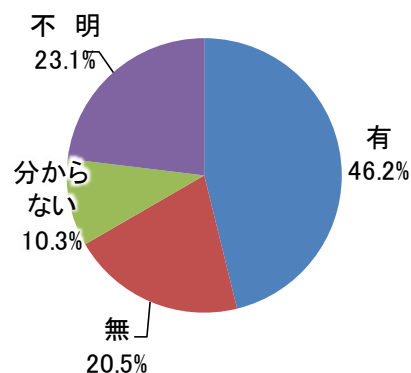
問１４【現在のところ、地域自治組織（地域協議会）の設立予定がない場合でも、改めて、茨木市（市民協働推進課）からの説明を希望しますか】（単一回答）
（問１１で「設立する予定はない」「分からない」と回答した方のみ回答）

市からの説明を希望するかについては「希望する」、「希望しない」が、ともに 50.0%となっている。



問15【地域組織の役員を複数人で担うなどによる負担の軽減に向けて取り組んでいることはありますか】（単一回答）

負担軽減に向けての取組については、「有」（46.2%）となっている。



n=39

問16【役員の負担軽減に向けた具体的な取組内容】（自由記述）

（問15で「有」と回答した方のみ回答）

記述内容（一部抜粋）

組織体制の見直し・改善	- 自治会内、自治連内でのワークシェアリング - 自治会内での活動推進部隊（行事応援員）の体制づくり - 各組織（団体）の特性を尊重し、それに対応した役割分担 - 各地域組織の役員の複数化（女性登用に力点を置く取組み考慮中） - 公民館では館長、主事、運営委員長に加え、副運営委員長2名と書記2名を役員に置き、役割の軽減、次代の育成に努めている。また、男性部会を設け男性が参加しやすい企画を立案、実施。男性部会長を中心に行っている。 - 協議会に顧問職（有識者）を置くことで、適切なアドバイス、諸行事への役員にも参加など - 当小学校区団体連絡協議会は10の団体と組織から「代表者と事務局」を選出して、事務局会議を開催し主要な取組みに関して企画・立案した上で実施・実行を図っている。
増員	- 副会長をたくさん設けている。 - できるだけ多くの人に参画を依頼している。 - 地域行事で知り合ったPTAやこども会の役員と関係を築き、防災会やコミセン、協議会の活動に継続して参加してもらえるようにしている。

問17【役員の負担軽減に向けて取り組んでいない理由】（自由記述）

（問15で「無」と回答した方のみ回答）

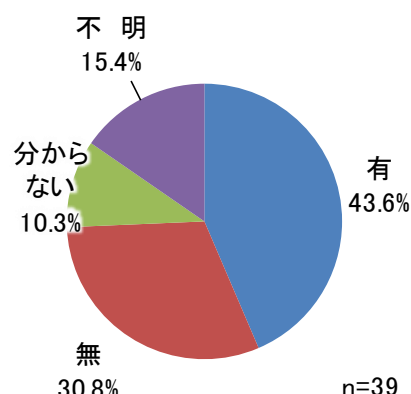
記述内容（一部抜粋）

取組方法が分からない・発想がない	- 取組方法がわからないため - 何も分からない状態で役員になるため、そもそも負担を軽減しなければいけないという発想自体がないため
------------------	--

担い手の問題	・成り手を探すのが大変なため ・良き人材が見つからないため ・役員の数を変更する必要がないため
--------	---

問１８【地域活動をけん引・先導する人材の発掘・育成に向けた取組を行っていますか】（単一回答）

人材の発掘・育成に向けた取組については、「有」（43.6%）となっている。



問１９【人材の発掘・育成に向けた具体的な取組内容】（自由記述）

（問１８で「有」と回答した方のみ回答）

若い世代の参加	・構成団体の長（正）の若返りを実施 ・若い世代の役員登用を図っている。 ・青少年向けのイベントにおけるPTA 役員経験者の活用 ・PTA や放課後子ども教室から若い人材に対して地域活動への参加を促している。 ・次世代のなかで中心的役割を担えそうで果せそうな2～3人の人物人材に注目して働きかけを継続中
OB への声かけ	・OB の活用 ・定年を迎えた方への協力要請
ボランティアの参加	・ボランティアの募集 ・ボランティア経験のある方へのアプローチ ・地域活動のみならず、ボランティア活動の情報収集に努めたい。家の中から地域の活動団体への役職登用から進めている。
運営の工夫	・防災会の方への防災士資格の推薦や、まちづくり協議会の編集委員、コミセンの事務局への参加 ・公民館では館長、主事、運営委員長に加え、副運営委員長2名書記2名を役員に置き、役割の軽減、次代の育成に努めている。また、男性部会を設け男性が参加しやすい企画を立案、実施。男性部会長を中心に行っている。 ・責任のある仕事を任せ、やりがい、達成感を感じてもらう。楽しく行う事を第一とする。 ・若手の人材が会長職を引き受けられた場合は、地域行事へのかかわりを通して積極的にコミュニケーションを取るよう心がけ、会長職が終った後も引き続き地域協議会の「有識者」として登用・育成を図っている。
イベントへの参加	・できるだけ役員になってもらい、中身（地域行事等）を知ってもらう。 ・公民館の講座、講習の受講生より発掘

その他	・地域行事への参加を呼びかけている。 ・地域在住者の能力の再発掘とその有効活用 ・出会いを大切に声掛けをしている。
-----	---

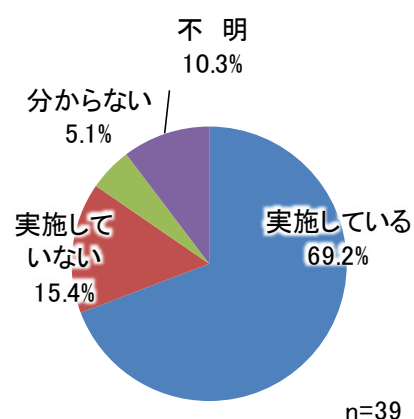
問20【人材の発掘・育成に向けて取り組んでいない理由】（自由記述）

（問18で「無」と回答した方のみ回答）

方法が分からない	・どうすればよいかわからない。
忙しい・余裕がない	・現状では忙しくて、時間的に難しい。 ・活動の余裕がない。
人材不足	・人材がいない。 ・地域に先導する様な人がいるかどうか分からない。
その他	・各団体の連携が難しい。

問21【地域活動に関して、各地域組織が連携・協力した情報発信を実施していますか】（単一回答）

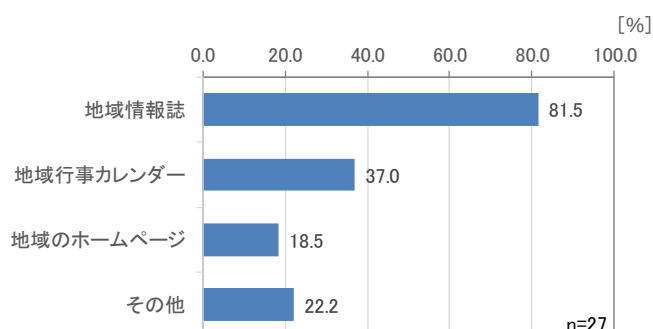
連携・協力した情報発信については、「実施している」（69.2%）となっている。



問22-1【情報発信の手段（媒体）】（複数回答）

（問21で「有」と回答した方のみ回答）

情報発信の手段（媒体）については、「地域情報誌」（81.5%）が最も多く、次いで、「地域行事カレンダー」（37.0%）となっている。



その他回答内容（一部抜粋）

団体からの情報回覧、掲示

自治会の回覧を月2回程度出し、各組織の情報も掲載している。

問22-2【情報を伝える対象者と1年間の情報発信回数＜地域情報誌＞】

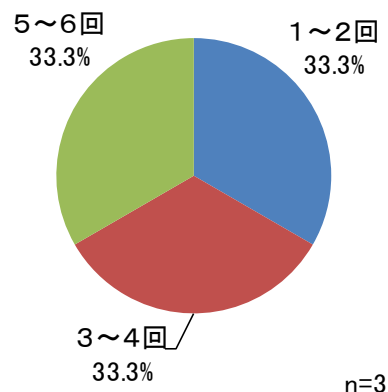
（問22-1で「地域情報誌」と回答した方のみ回答）

【地域情報誌での情報を伝える対象者】

地域の全住民／自治会員／地域団体／小学校児童

【地域情報誌での1年間の情報発信の回数】

1年間の地域情報誌での情報発信の回数については、「1～2回」、「3～4回」、「5～6回」それぞれ1回答ずつとなっている。



問22-3【情報を伝える対象者と1年間の情報発信回数を記入してください。＜その他＞】

（問22-1で「その他」と回答した方のみ回答）

【その他の方法で情報を伝える手段（媒体）】

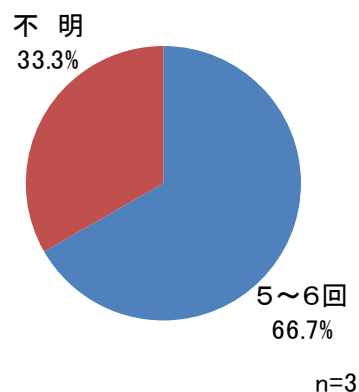
メール／チラシ／公民館報

【その他の方法で情報を伝える対象者】

地域の全住民／自治会員／地域団体長／市役所／警察／小学校

【その他の方法での1年間の情報発信の回数】

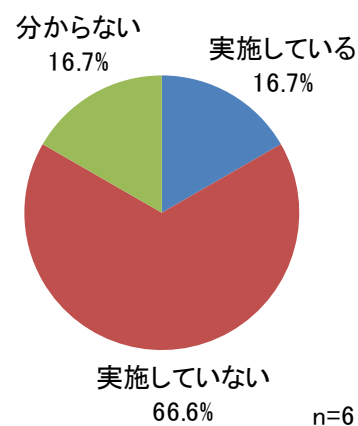
その他の方法での1年間の情報発信回数については、「5～6回」が最も多くなっている。



問23-1【各地域組織がそれぞれに情報発信をしていますか】（単一回答）

（問21で「実施していない」と回答した方のみ回答）

各地域組織のそれぞれの情報発信については、「実施していない」（66.6%）が最も多くなっている。



問23-2【問23-1で実施しているとした情報発信の具体的な手段ごとに伝える対象者と1年間の情報発信回数】（自由記述）

（問23-1で「実施している」と回答した方のみ回答）

手段：コミセンだより	／対象者：地域住民	／回数：無回答
手段：公民館報	／対象者：地域住民	／回数：年4回

※ 回答対象者外の回答は記載していない。

問24【地域の情報を伝えるため、地域において工夫されていること】（自由記述）

発信方法	・メールでの情報交換 ・まちづくり協議会HPにて情報発信 ・各組織にて情報誌を全戸配布 ・地域行事は自治会、コミセン、小学校の掲示板に掲示 ・地域協議会だよりを年2回、地域の全戸に配布 ・地域情報紙を年2回発行し全戸配布（6月・12月） ・コミセンニュース発行（毎月）し、自治会で回覧をしてもらっている。 ・自治会掲示板や郵便局、関西スーパーなどにポスターを掲示 ・公民館行事（体育祭、文化展）、ふるさと祭り、防災訓練、敬老会等、案内を全戸配布 ・広報誌の発行（年1回）。また、コミュニティセンターに配布 ・緊急性が高く速やかに地域住民に周知する案件がある場合は、連合自治会より単一自治会に情報発信を行うとともに、必要に応じてその内容をコミュニティセンター内に掲示
体制	・各自治会から公民館広報委員を選出。公民館広報作成時に各自治会情報等を掲載
内容・体裁	・地域カレンダーは、各家庭でピンでとめて見る事ができるよう工夫
頻度	・地域情報誌やチラシ等は、年11回以上発行
コミュニケーション	・公民館・コミュニティセンター他、諸団体役員との随時コミュニケーションをとり情報共有 ・毎月定例会を実施し、議事録をA4用紙1枚にまとめ全戸に配布（出席者はその場で欠席者は責任者が届けている）

問25【地域の情報を発信する上での課題】（自由記述）

受け取り手の設定	・自治会未加入者への配布
反応	・資料提供の形で発信しても反応が少ない。 ・無関心、無視、反論が非常に多い。
内容	・どのような視点でニュースをつくるか。 ・現状、発行内容に偏りがある。

運営方法・財源	・費用負担 ・個人情報への配慮 ・素地づくり、共通認識 ・諸団体の長、役員の積極的なエネルギーが必要。協調にも苦心 ・情報は鮮度が第一。毎月確実に地域に知らせる事が重要であり、課題である。 ・各団体の長の熱意の度合 ・頁を8頁以上にすると配布者への負担増となり、回数を増やすと12団体分の原稿、編集が負担になる。 ・自治会長をはじめ、各役員が配布をしているが、その方々も忙しく、他の業務に差し支える。
媒体	・情報発信のシステム化 ・速やかに情報提供するために SNS を使った情報発信が有効であるが、地域組織の役職者は高齢者が多く、電話やFAX等に頼らざるを得ない。 ・情報発信媒体の標準化・共有化
その他	・全戸配布をすることはよいが、自治会活動の土台が揺らぐことにならないか。地域活動の大地は自治会の存在が大きい、これからどんな方法があるのか。

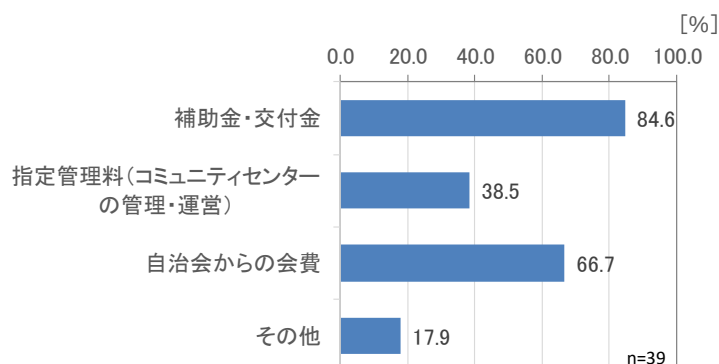
3. 地域・行政との協働での取組について

問26【地域活動を行うための資金（財源）】（複数回答）

地域活動の資金（財源）については、「補助金・交付金」（84.6%）が最も多く、次いで、「自治会からの会費」（66.7%）となっている。

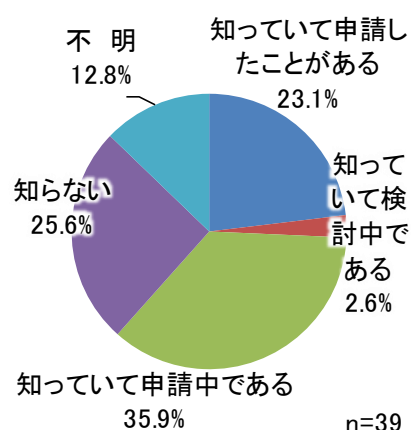
その他回答内容

協賛金・寄付金
ふるさと祭りの企業協賛金
広告料、模擬店収益、参加費
地域事業所の賛助金
コミュニティ助成事業



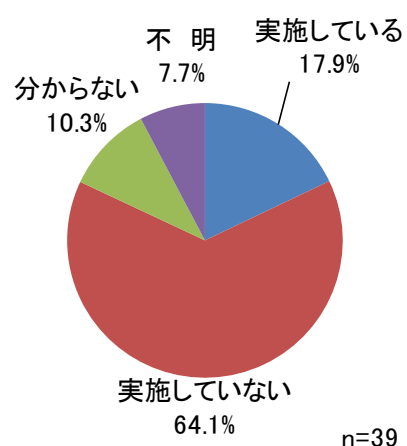
問27【地域活動を行うための資金（財源）の一環として、一般財団法人自治総合センターが実施しているコミュニティ助成事業について、知っていますか】（単一回答）

コミュニティ助成事業については、「申請中である」（35.9%）、「申請をしたことがある」（23.1%）、「検討中である」（2.6%）を合わせると、回答者の61.6%が知っている。



問28【地域課題の解決やその活動にあたり、NPO、市民活動団体、企業・事業者等と連携・協働した取組を実施していますか】（単一回答）

NPO、市民活動団体、企業・事業者等との連携・協働した取組については、「実施していない」（64.1%）が最も多く、次いで、「実施している」（17.9%）となっている。

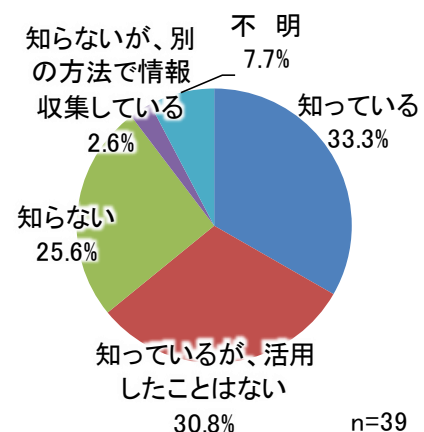


【具体的な連携主体名】（上記で実施していると回答した方のみ回答）

大京グループ（JR 総持寺駅前開発、交通安全面で連携・協働、ライオンズマンションの自治会設立や、マンション工事、情報交換）
コミセン利用者（コンサートの開催、コミセン母国の料理教室とふる里紹介（異文化交流会））
箕面市の国際交流会（ジャズコンサートの開催時、役員の協力で箕面市の国際交流会に団体を紹介してもらう。）
明治乳業、森永乳業、藍野病院、近畿財務局
小学校区周辺のスーパーマーケット等事業者（買い物支援（大阪北部地震関連））
がんばろう！つばさネットワーク、東北の高校と大阪府立3校と私立1校（高校生交流親善野球試合の開催）
大岩太鼓保存会、大岩パトロール隊、大岩観光農業組合（いもほり園）、NPO法人北摂やままち倶楽部
イオン等の事業者（防災訓練の実施等）

問29【NPO、市民活動団体、ボランティア団体など、団体一覧が公開されていますが、情報を知っていますか、又は活用していますか】（単一回答）

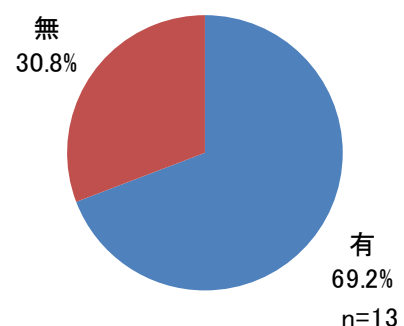
団体一覧の公開については、「知っている」（33.3%）、「知っているが活用したことはない」（30.8%）を合わせると、回答者の64.1%が知っている。



問30【地域の課題解決や活動される中で、多様な組織との連携・協働を実践されたことはありますか】（単一回答）

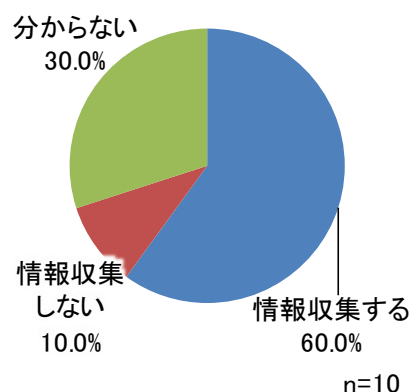
（問29で「知っている」と回答した方のみ回答）

多様な組織との連携・協働の実践については、「有」（69.2%）となっている。



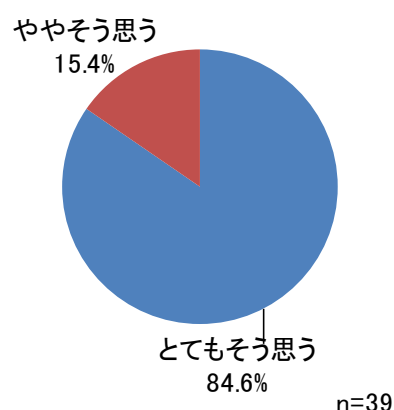
問31【地域の課題解決や活動される中で、今後、多様な組織と連携・協働できることがあれば、必要に応じて、多様な組織の情報を収集しますか】（単一回答）
（問29で「知らない」と回答した方のみ回答）

多様な組織と連携・協働できることがあれば、多様な組織の情報を収集をしますかについては、「情報収集する」（60.0%）となっている。



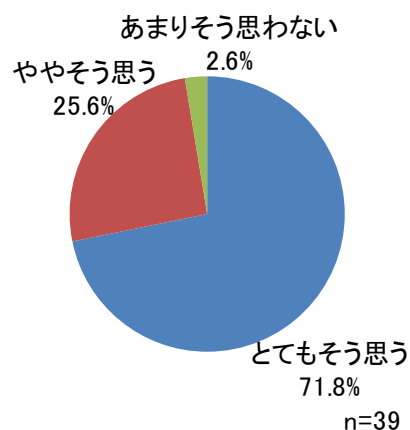
問32【地域組織と学校は、地域活動に関する相互理解を深め、連携を図ることが重要であると思いますか】（単一回答）

地域組織と学校との相互理解、連携を図ることが重要であると思うかについては、「とてもそう思う」（84.6%）、「ややそう思う」（15.4%）を合わせると、全ての回答者が重要であると思っている。



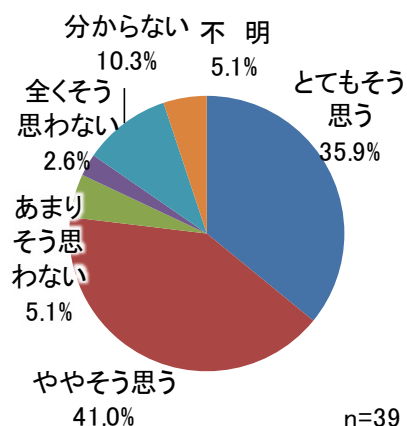
問33【地域行事の実施にあたり、学校との協力関係や連携ができていますか】（単一回答）

地域行事の実施にあたり学校との協力関係や連携ができているかについては、「とてもそう思う」（71.8%）が最も多くなっている。



問34【「地域のまちづくり計画」があれば、地域づくりに効果的であると思いますか】（単一回答）

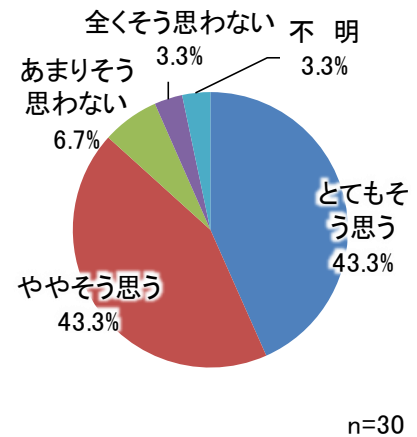
「地域のまちづくり計画」が地域づくりに効果的であると思うかについては、「とてもそう思う」（35.9%）、「ややそう思う」（41.0%）を合わせると、回答者の76.9%が効果的であると思っている。



問35-1【今後、あなたの地域において、「地域のまちづくり計画」の策定に向けた検討を進めたいと思いますか】（単一回答）

（問34で「とてもそう思う」「ややそう思う」と回答した方のみ回答）

「地域のまちづくり計画」の策定に向けた検討を進めたいと思うかについては、「とてもそう思う」、「ややそう思う」が、ともに43.3%となっており、合わせると、回答者の86.6%が、検討を進めたいと思っている。



問35-2【「地域のまちづくり計画」の策定に向けた検討を進めようと思わない理由】

（自由記述）

（問35-1で「あまりそう思わない」「全くそう思わない」と回答した方のみ回答）

多忙	・これ以上、仕事を多くしないでほしい。
体制が整わない	・まだそこまで地域自治組織がまとまっていない。 ・地域の高齢化はこの5年～10年で大変なことになり、自治会の構成員で会長のみならず、班・組長を担うことが困難になる地域が続出する。

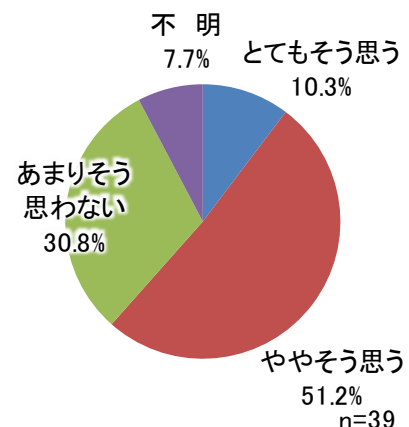
問36【「地域のまちづくり計画」が効果的でないと思う理由】（自由記述）

（問34で「あまりそう思わない」「全くそう思わない」と回答した方のみ回答）

負担	・地域の負担が更に増えることを恐れている。
手段がない	・地域の現状が分かりすぎて、解決すべき手段がない。

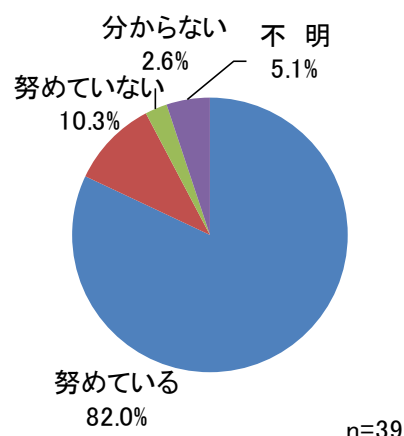
問37【地域では、住民の共助による支え合い、助け合いのしくみづくりが進んでいると思いますか】（単一回答）

住民の共助による支え合い、助け合いのしくみづくりが進んでいると思うかについては、「とてもそう思う」（10.3%）、「ややそう思う」（51.2%）を合わせると、回答者の61.5%が進んでいると思っている一方で、「あまりそう思わない」（30.8%）となっている。



問38【地域の防災訓練の実施にあたっては、多くの地域住民や学校、事業所などの多様な関係者が参加できるよう、周知に努めていますか】（単一回答）

地域の防災訓練の実施にあたって、多様な関係者が参加できるように周知に努めているかについては、「努めている」（82.0%）となっている。



【具体的な周知方法とお声かけした関係者】（自由記述）

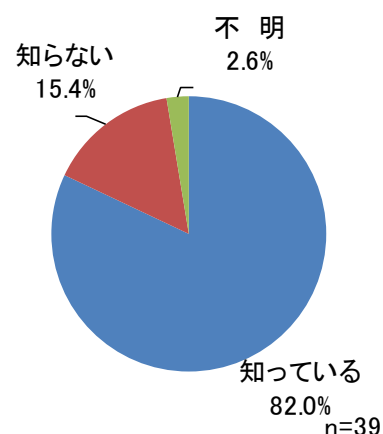
（前問で「努めている」と回答した方のみ回答）

具体的な周知方法	・チラシ、広報誌、回覧板、ポスター、HP ・自治会を通して周知 ・各地域団体への声かけ ・小学校全生徒に案内を配布 ・地震発生時に地域全域に情報ビラを配布 ・防災研修に参加し、防災訓練の参加を呼かけ ・防災の役員会、委員会を定期的開催し周知 ・毎月の定例会にて周知。急ぐ場合は連絡網を活用している。 ・年1回の防災誌の発行、防災訓練（地域の住民を含む）、防災会役員の委員会、その他を実施時に周知 ・自主防災組織の総会時に、実施日等の周知連絡。ポスターの掲示 ・他の組織の行事とコラボして行っている。
お声かけした関係者	<地域団体> 地域団体の長、役員／自治会／公民館／福祉委員会／地域協議会／放課後子ども教室／民生委員／防犯委員／人権啓発委員／老人会／青少年健全育成運動協議会／こども会育成連絡協議会／PTA／消防団／防災士会 <公的機関> ・小学校／中学校／高等学校／消防署／警察 <その他> ・地域の全住民／イオン／企業等事業所

4. 茨木市の取組について

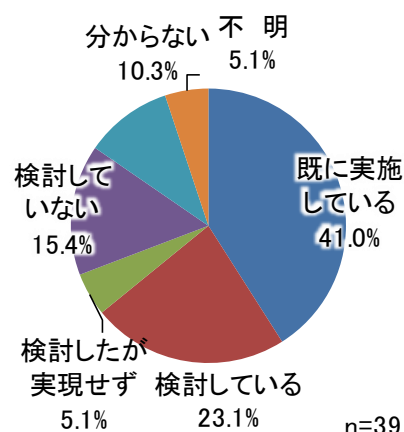
問39【公民館のコミュニティセンター化を進めていることを知っていますか】（単一回答）

公民館のコミュニティセンター化を進めていることについては、「知っている」（82.0%）となっている。



問40【地域において、公民館のコミュニティセンター化を検討されたことはありますか】（単一回答）

公民館のコミュニティセンター化の検討については、「既に実施している」（41.0%）、「検討している」（23.1%）を合わせると、回答者の64.1%が実施または、検討しているとなっている一方で、「検討していない」（15.4%）、「分からない」（10.3%）を合わせると、回答者の25.7%が検討していないとなっている。



問41【検討された結果、コミュニティセンターに移行しなかった・できなかった理由】（自由記述）

（問40で「検討したが、実現せず」と回答した方のみ回答）

公民館と協議・連携が進んでいない。コミセン化に消極的、賛成はするが、その担い手となると消極的になる。

問42【コミュニティセンター化を検討されていない理由】（自由記述）

（問40で「検討していない」と回答した方のみ回答）

行政の方針を理解していなかったため。

地域外からの申し込みが増加し、地域から苦情が出てくるため。

コミュニティセンター化しても、利用者が少なく運営がなり立たないため。

小規模公民館のため、各地域に集会所（自治会館）があり、そこで活動しているため。

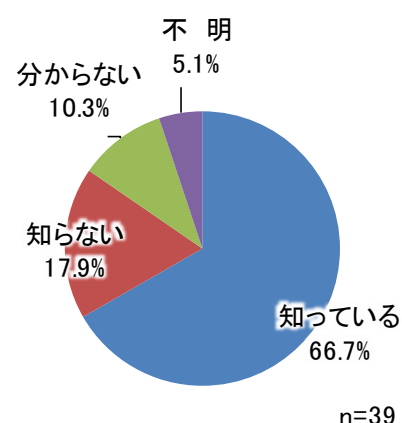
市からの検討要請を受けていない、現在活動している内容とどのように違うのかわからないため。

問４３【公民館のコミュニティセンター化を検討するにあたり、地域として大きな課題は何だとお考えですか。】（自由記述・一部抜粋）

運営の担い手・人材	・運営の確立 ・人材確保、負担感の軽減 ・運営に係わる人員の確保 ・責任を持って計画を進める人材を確保すること ・管理が市から外れ、地域で管理、事務者を常駐すること
財源	・利用料金収入が少ない。 ・必要経費の確保や捻出
必要性や機能の理解	・コミセン化により、地域へどのようなメリットがあるか。 ・必要性を周知と衆知のうえ共通認識、メリットの明確化 ・コミュニティセンターになると何がよいのか、わからない。 ・それぞれ二つの団体がある。両者のミッションは住みわけされていると思う。何故、統一せねばならないのか。
利用者数	・人口減少、若い人がいない。センターを利用する人がいない。
設備	・建物の安全性、駐車場の広さ等が課題
立地	・コミュニティセンターは立地場所で運営状況が違い、また公民館との施設の大きさが違い、地域運営の差が出ること
役員・住民相互理解・合意形成	・それぞれの団体の理解 ・地域内での情報交換、交流 ・連合自治会、福祉委員会、公民館の合意
その他	・歴史のある公民館活動の見直し、行事等、検討課題が多くある。

問４４【地域活動への財政的な支援の一つである「統合補助金」として、「地域行事開催等事業補助金」があることを知っていますか】（単一回答）

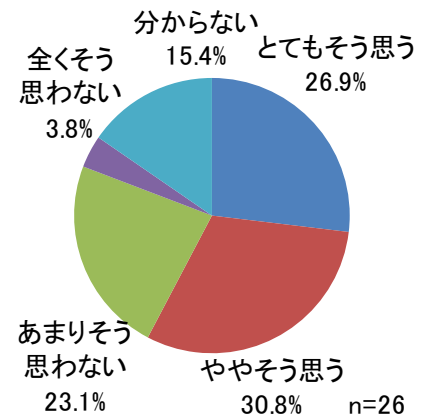
地域行事開催等事業補助金については、「知っている」（66.7％）となっている。



問45【従来の補助金と比較し、「地域行事開催等事業補助金」は、使い勝手が良くなったと思いますか】（単一回答）

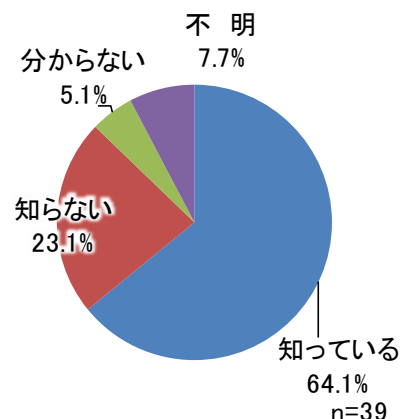
（問44で「知っている」と回答した方のみ回答）

「地域行事開催等事業補助金」の使い勝手が良くなったと思うかについては、「とてもそう思う」（26.9%）、「ややそう思う」（30.8%）を合わせると、回答者の57.7%が良くなったと思っている。



問46【地域活動への財政的な支援の一つである「一括交付金」として、「地域活動支援交付金」があることを知っていますか】（単一回答）

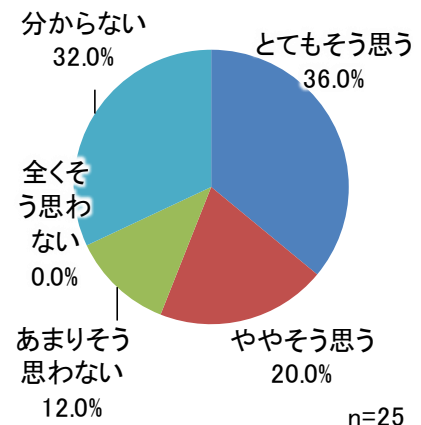
「地域活動支援交付金」については、「知っている」（64.1%）となっている。



問47【「地域活動支援交付金」は、地域課題や活動などへの取組・事業などに、有効に活用されていると思いますか】（単一回答）

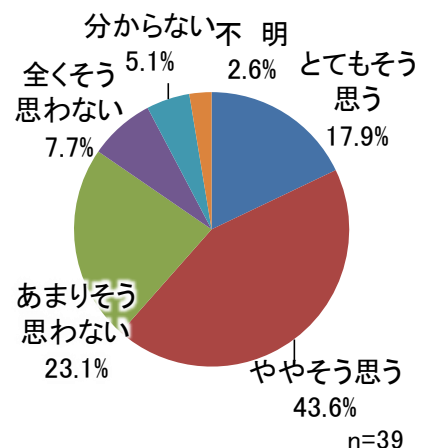
（問46で「知っている」と回答した方のみ回答）

「地域活動支援交付金」が有効活用されていると思うかについては、「とてもそう思う」（36.0%）、「ややそう思う」（20.0%）を合わせると、回答者の56.0%が有効に活用されていると思っている。



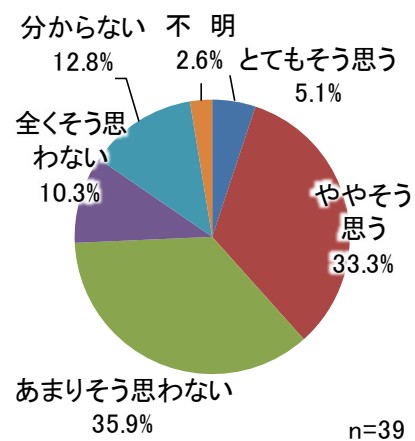
問48【各地域の活動や地域コミュニティに関連する施策などの情報が、市から積極的に発信されていると思いますか】（単一回答）

市による地域コミュニティに関連する施策等情報の発信については、「とてもそう思う」（17.9%）、「ややそう思う」（43.6%）を合わせると、回答者の61.5%が積極的に発信されていると思っている。



問49【様々な地域課題に対して、行政の横断的な体制（庁内連携）が整ってきていると思いますか】（単一回答）

地域活動に対する行政の横断的な体制が整ってきていると思うかについては、「とてもそう思う」（5.1%）、「ややそう思う」（33.3%）を合わせると、回答者の38.4%が整ってきていると思っている一方で、「あまりそう思わない」（35.9%）、「全くそう思わない」（10.3%）を合わせると、46.2%が、整っていないと思っている。



以上

茨木市の地域コミュニティに関するアンケート

《ご協力のお願い》

日頃から、地域の皆さまには、地域コミュニティの醸成と更なる発展に、ご尽力を賜り誠にありがとうございます。

さて、本市では、地域コミュニティ基本指針に基づいて、市民の皆さまのご協力のもと、地域コミュニティの維持向上に取り組んでいるところですが、地域コミュニティの現状を把握するとともに、社会経済情勢の変化等を踏まえた地域コミュニティのあり方などに関して率直なご意見をお伺いし、今後の地域コミュニティに対する取組の重要な基礎資料として役立てたいと考えております。つきましては、ご多忙のところ誠に恐れ入りますが、アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。なお、本アンケート調査は茨木市が株式会社地域計画建築研究所に委託し、実施するものです。

令和元年8月

茨 木 市

【アンケートの取扱について】

- 1 このアンケートは、地域自治組織、地区連合自治会、コミュニティセンターの各代表者の方を対象に、調査票をお送りしています。
- 2 全てのお答えを統計的に処理した上で、取りまとめを行いますので、個人のお答えを個別に公表することはありません。ご回答内容を正確に把握するため、市民協働推進課から、ご回答内容について詳しくお尋ねすることがありますので、その際はご協力をお願いいたします。
- 3 このアンケートの結果については、上記の目的である基礎資料以外に使用することはありません。なお、具体的な事例等は事前に許可をいただいた上で他地域等へ紹介させていただくことがあります。

【ご記入にあたって】

このアンケートは、封筒の宛名のご本人がお答えください。
自由記述欄が多くあります。ご回答内容の詳細について、資料等がありましたら同封いただけると幸いです。

【返送について】

ご回答いただいた調査票については、令和元年9月6日（金）までに、同封しています返信用封筒に入れて、郵便ポストに投函してください（切手不要）。

■ アンケートに関する問い合わせ先

いばらきし しみんぶんかぶ しみんきょうどうすいしんか こみゆにていかり
茨木市 市民文化部 市民協働推進課 コミュニティ係

〒567-8505 いばらきしえきまえさんちようめ ばん ごう
茨木市駅前三丁目8番13号

でんわ
電話 072-620-1604 （直通）

ふあつくす
FAX 072-620-1715

Eメール shiminkyoudou@city.ibaraki.lg.jp

1 ご自身のことについて

問1 あなたのお名前・性別・年齢について、記入してください。（任意）

【氏名】	【性別】	【年齢】
		() 歳

*男女比の統計を得るためにご回答をお願いします。

問2 あなたの所属する地域組織（各地域組織*問12-2選択肢参照）での活動経験年数を記入してください。複数の地域組織に所属している場合は、3つまで記入してください。

<例>

郡校区まちづくり協議会	12	年
茨小校区自治会連合会	5	年
葦原コミュニティセンター管理運営委員会	6	年

<回答>

		年
		年
		年

問3 あなたは、いくつの地域組織の役員などを担っていますか。
あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

1. 1～3つ	2. 4～6つ	3. 7～9つ	4. 10以上
---------	---------	---------	---------

問4 あなたは、地域住民の交流・連携が進んでいると思いますか。
あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

1. とてもそう思う	2. ややそう思う	3. あまりそう思わない
4. 全くそう思わない	5. 分からない	

問5 あなたは、各地域組織の連携が進み、地域コミュニティが活性化していると思いますか。
あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

1. とてもそう思う	2. ややそう思う	3. あまりそう思わない
4. 全くそう思わない	5. 分からない	

問6 あなたは、地域住民が自ら地域づくりを進めようとする意識が高まっていると思いますか。
あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|-------------|-----------|--------------|
| 1. とてもそう思う | 2. ややそう思う | 3. あまりそう思わない |
| 4. 全くそう思わない | 5. 分からない | |

2 地域が行っている取組について

問7 地域住民や地域組織が集まって情報交換をし、地域における課題や諸問題について「話し合う場」がありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | |
|----------|-------|
| 1. 有 | → 問8へ |
| 2. 無 | → 問9へ |
| 3. 分からない | → 問9へ |

問8-1 問7で「有」と回答した方にお伺いします。
それは、どんな「場」ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|-----------|---------|---------|
| 1. 総会 | 2. 理事会 | 3. 役員会 |
| 4. 専門部会 | 5. 企画会議 | 6. 円卓会議 |
| 7. その他（ ） | | |

※「円卓会議」とは、ラウンドテーブルともいわれますが、特に、結論を求めず、一定のテーマに対して、出席者の役職等に関係なく平等に意見を出し合う会議の方法。

問8-2 「話し合う場」は、年間、どの程度、開催していますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 1～2回 | 2. 3～4回 | 3. 5～6回 | 4. 7回以上 |
|---------|---------|---------|---------|

問8-3 「話し合う場」には、どの程度の主体（各地域組織*問12-2選択肢参照）が参加していますか
あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1. 1団体のみ | 2. 2～4団体 | 3. 5～7団体 | 4. 8団体以上 |
|----------|----------|----------|----------|

問9 問7で「無」又は「分からない」と回答した方にお伺いします。
地域住民や地域組織が集まって情報交換し、地域における課題や諸問題について「話し合う場」は重要だと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|-------------|-----------|--------------|
| 1. とてもそう思う | 2. ややそう思う | 3. あまりそう思わない |
| 4. 全くそう思わない | 5. 分からない | |

問10 所属している地域組織の活動において、様々な年代の地域住民の方々が参加していただけるような工夫をされていますか。

1. はい	2. いいえ	3. 分からない
「はい」の場合、具体的に工夫されている内容を記入してください。		

- (例)
- ・地域行事を開催する際には、地域の全世帯に案内チラシを配布している。
 - ・子どもからお年寄りまで参加していただけるような催しを開催している。
 - ・単独で開催していた行事を〇〇〇と合同で開催することにより多世代が参加できるような工夫を実施している。
 - ・放課後子ども教室の指導者として、大学生が参加している。
 - ・地域の事業者と協力いただき、従業員の方が地域活動に参加していただいている。

問11 地域組織間の連携・協働を促す総合的な組織として、地域自治組織（地域協議会）づくりを進めていますか。
あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

1. 既に設立している	2. 検討中（準備中）	→「1」と「2」を選択した方は、問12へ
3. 設立する予定はない	4. 分からない	→「3」と「4」を選択した方は、問13へ

※「地域自治組織（地域協議会）」とは、地域住民が自ら責任を持って、よりよい地域づくりに向けて、地域の多様な主体（地域組織）が連携・協働して地域を運営する組織のこと。

問12-1 問11で、「1」又は「2」と回答した方にお伺いします。
あなたがお住まいの地域における地域組織の数と地域自治組織（地域協議会）を構成する団体数を記入してください。

【地域組織の数】	【地域自治組織の構成団体数】
() 団体	() 団体

問12-2 地域自治組織（地域協議会）を構成する具体的な団体について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 自治会	2. 公民館区事業実施委員会
3. こども会育成連絡協議会	4. 青少年健全育成運動協議会
5. 地区福祉委員会	6. 民生委員・児童委員
7. 地区老人クラブ連合会	8. 小学校PTA
9. 自主防災会	10. 防犯協会支部
11. 人権啓発推進委員会	12. 市立小学校
13. 私立幼稚園・保育所	14. 地域活動団体
15. NPO法人	16. 企業・事業所
17. 社会福祉法人	18. 病院
19. その他 ()	

【これまでに実施した特色ある取組】

【これから実施しようとしている特色ある取組】

1. とてもそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない
4. 全くそう思わない 5. 分からない

→ 回答後

1. 既存の各地域組織と合同で総会等を開催しており、地域組織間の連携・協力ができているから。
2. 既存の各地域組織と連携・協力し、地域課題を共有しながら、すでに具体的にその解決に取り組んでいるから。
3. 地域自治組織（地域協議会）の機能や役割が分からないから。
4. 地域自治組織（地域協議会）の設立によって、地域の負担が増加するから。
5. その他（ ）

1. 希望する 2. 希望しない 3. 分からない

問15 地域組織の役員を複数人で担うなどによる負担の軽減に向けて取り組んでいることはありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | |
|----------|--------|
| 1. 有 | → 問16へ |
| 2. 無 | → 問17へ |
| 3. 分からない | |

問16 問15で「1. 有」と回答した方にお伺いします。
具体的な取組内容を記入してください。（自由記述）

--

問17 問15で「2. 無」と回答した方にお伺いします。
取り組んでいない理由を記入してください。（自由記述）

--

問18 地域活動をけん引・先導する人材の発掘・育成に向けた取組を行っていますか。
あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | |
|----------|--------|
| 1. 有 | → 問19へ |
| 2. 無 | → 問20へ |
| 3. 分からない | |

問19 問18で「1. 有」と回答した方にお伺いします。
具体的な取組内容を記入してください。（自由記述）

--

問20 問18で「2. 無」と回答した方にお伺いします。
取り組んでいない理由を記入してください。（自由記述）

--

問21 地域活動に関して、各地域組織が連携・協力した情報発信を実施していますか。
あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

1. 実施している → 問22へ
2. 実施していない → 問23へ
3. 分からない

問22-1 問21で「実施している」と回答した方にお伺いします。
情報発信の手段（媒体）として、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1. 地域情報誌 2. 地域行事カレンダー 3. 地域のホームページ
-4. その他（ ）

問22-2 問22-1の情報発信の手段として「1」又は「4」と回答した方にお伺いします。
情報を伝える対象者と1年間の情報発信回数を記入してください。

<1. 地域情報誌>

【情報を伝える対象者】

--

(例) 自治会員、地域の全住民

【情報発信の回数】

() 回/年

＜4. その他（ ）＞

【情報を伝える対象者】

--

(例) 自治会員、地域の全住民

【情報発信の回数】

() 回/年

問23-1 問21で「実施していない」と回答した方にお伺いします。各地域組織がそれぞれに情報発信をしていますか。
あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

1. 実施している → 問23-2へ
2. 実施していない
3. 分からない

問23-2 「実施している」と回答した方にお伺いします。
情報発信の具体的な手段（媒体）ごとに、情報を伝える対象者と、1年間の情報発信回数を記入してください。

【具体的な手段（媒体）】

【情報を伝える対象者】

【情報発信の回数】

		()回/年
		()回/年
		()回/年

問24 地域の情報を伝えるため、地域において工夫されていることがあれば記入してください。
(自由記述)

(例) ・地域情報誌を年〇回発行し、そのうち〇回は、地域の全戸に配布している。
・地域内にある〇か所の掲示版を利用し、地域行事の開催チラシを掲示している。

問25 地域の情報を発信する上での課題があれば記入してください。(自由記述)

3 地域・行政との協働での取組について

問26 地域活動を行うための資金(財源)として、あてはまるものすべてに〇をつけてください。

- | | |
|-------------|----------------------------|
| 1. 補助金・交付金 | 2. 指定管理料(コミュニティセンターの管理・運営) |
| 3. 自治会からの会費 | 4. その他() |

問27 地域活動を行うための資金(財源)の一環として、一般財団法人自治総合センターが実施しているコミュニティ助成事業について、知っていますか。※市の広報誌を通じて周知しています。

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 知っていて申請したことがある | 2. 知っていて申請中である |
| 3. 知っていて検討中である | 4. 知らない |

※「コミュニティ助成事業」とは、一般財団法人自治総合センターが実施している助成事業のことで、毎年、10月の広報誌において募集の案内を掲載しており、活用事例としては、祭りのやぐら(アルミ製)などを申請している。

問28 地域課題の解決やその活動にあたり、NPO、市民活動団体、企業・事業者等と連携・協働した取組を実施していますか。(組織の構成員を含む)
あてはまるものに1つだけ〇をつけてください。

- | |
|------------|
| 1. 実施している |
| 2. 実施していない |
| 3. 分からない |

具体的な連携主体名を記入してください。(複数回答可)

問29 NPO（市）、市民活動団体（茨木市市民活動センター）、ボランティア団体（茨木市社会福祉協議会）など、それぞれのホームページにおいて団体一覧が公開されていますが、それらの情報を知っていますか、又は活用していますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | |
|----------------|------------------------|
| 1. 知っている →問30へ | 2. 知っているが、活用したことはない |
| 3. 知らない →問31へ | 4. 知らないが、別の方法で情報収集している |

問30 問29で「1. 知っている」と回答した方にお伺いします。
地域の課題解決や活動される中で、多様な組織との連携・協働を実践されたことはありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|------|------|----------|
| 1. 有 | 2. 無 | 3. 分からない |
|------|------|----------|

問31 問29で「2. 知らない」と回答した方にお伺いします。
地域の課題解決や活動される中で、今後、多様な組織と連携・協働できることがあれば、必要に応じて、多様な組織の情報を収集しますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|-----------|------------|----------|
| 1. 情報収集する | 2. 情報収集しない | 3. 分からない |
|-----------|------------|----------|

問32 地域組織と学校は、地域活動に関する相互理解を深め、連携を図ることが重要であると思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|-------------|-----------|--------------|
| 1. とてもそう思う | 2. ややそう思う | 3. あまりそう思わない |
| 4. 全くそう思わない | 5. 分からない | |

問33 地域行事の実施にあたり、学校との協力関係や連携ができていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|-------------|-----------|--------------|
| 1. とてもそう思う | 2. ややそう思う | 3. あまりそう思わない |
| 4. 全くそう思わない | 5. 分からない | |

問34 お住まいの地域において、まちの将来像を描き、それを実現していくための手順や方法などをまとめた「地域のまちづくり計画」があれば、地域づくりに効果的であると思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|--------------|-------------|---------------------|
| 1. とてもそう思う | 2. ややそう思う | 「1」又は「2」と回答した方→問35へ |
| 3. あまりそう思わない | 4. 全くそう思わない | 「3」又は「4」と回答した方→問36へ |
| 5. 分からない | | |

問35-1 問34で、「1」又は「2」と回答した方にお伺いします。
今後、あなたの地域において、「地域のまちづくり計画」の策定に向けた検討を進めたいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|--------------|-------------|----------|
| 1. とてもそう思う | 2. ややそう思う | |
| 3. あまりそう思わない | 4. 全くそう思わない | 5. 分からない |

問35-2 問35-1で、「3」又は「4」と回答した方にお伺いします。
検討を進めようと思わない理由を記入してください。（自由記述）

問36 問34で、「3」又は「4」と回答した方にお伺いします。効果的ではないと思う理由を記入してください。（自由記述）

問37 地域では、住民の共助による支え合い、助け合いのしくみづくりが進んでいると思いますか。
あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|-------------|-----------|--------------|
| 1. とてもそう思う | 2. ややそう思う | 3. あまりそう思わない |
| 4. 全くそう思わない | 5. 分からない | |

問38 地域の防災訓練の実施にあたっては、多くの地域住民や学校、事業所などの多様な関係者が参加できるよう、周知に努めていますか。
あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | |
|-----------|
| 1. 努めている |
| 2. 努めていない |
| 3. 分からない |

具体的な周知方法を記入してください。

お声かけした関係者を記入してください。

4 茨木市の取組について

問39 茨木市では、より多くの住民の皆様が利用でき、自発的な活動ができる環境づくりの一環として、公民館のコミュニティセンター化を進めていることを知っていますか。
あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|----------|---------|----------|
| 1. 知っている | 2. 知らない | 3. 分からない |
|----------|---------|----------|

問40 地域において、公民館のコミュニティセンター化を検討されたことはありますか。
あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|------------------|-----------|--------------------|
| 1. 既に実施している | 2. 検討している | 3. 検討したが実現せず →問41へ |
| 4. 検討していない →問42へ | 5. 分からない | |

問41 問40で、「3」と回答した方にお伺いします。
検討された結果、コミュニティセンターに移行しなかった・できなかった理由は何ですか。
(自由記述)

問42 問40で、「4」と回答した方にお伺いします。
コミュニティセンター化を検討されていない理由は何ですか。(自由記述)

問43 公民館のコミュニティセンター化を検討するにあたり、地域として大きな課題は何だとお考えですか。

問44 地域活動への財政的な支援の一つである「統合補助金」として、「地域行事開催等事業補助金」があることを知っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|----------------|---------|----------|
| 1. 知っている →問45へ | 2. 知らない | 3. 分からない |
|----------------|---------|----------|

※「地域行事開催等事業補助金」とは、地域自治組織（地域協議会）が、地域住民の主体的な学習活動や地域活動及びスポーツ推進を図り、地域住民の生活文化の振興を応援するための補助制度のことで、従来の「スポーツ関係事業補助金」と「公民館区事業補助金」を統合して、地域自治組織に交付するもの。

→ 問45 問44で、「1」と回答した方にお伺いします。
従来の補助金と比較し、「地域行事開催等事業補助金」は、使い勝手が良くなったと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|-------------|-----------|--------------|
| 1. とてもそう思う | 2. ややそう思う | 3. あまりそう思わない |
| 4. 全くそう思わない | 5. 分からない | |

問46 地域活動への財政的な支援の一つである「一括交付金」として、「地域活動支援交付金」があることを知っていますか。
あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|----------------|---------|----------|
| 1. 知っている →問47へ | 2. 知らない | 3. 分からない |
|----------------|---------|----------|

※「地域活動支援交付金」とは、住民自治の進行と市民協働のまちづくりを推進するため、住みよい地域社会の実現に向けて活動を行う地域自治組織（地域協議会）を応援するための交付金制度のことで、平成27年6月に、新たに創設したもの。

→ 問47 問46で「1」と回答した方にお伺いします。
「地域活動支援交付金」は、地域課題や活動などへの取組・事業などに、有効に活用されていると思いますか。
あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|-------------|-----------|--------------|
| 1. とてもそう思う | 2. ややそう思う | 3. あまりそう思わない |
| 4. 全くそう思わない | 5. 分からない | |

問48 各地域の活動や地域コミュニティに関連する施策などの情報が、市から積極的に発信されていると思いますか。
あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|-------------|-----------|--------------|
| 1. とてもそう思う | 2. ややそう思う | 3. あまりそう思わない |
| 4. 全くそう思わない | 5. 分からない | |

問49 様々な地域課題に対して、行政の横断的な体制（庁内連携）が整ってきていると思いますか。
あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|-------------|-----------|--------------|
| 1. とてもそう思う | 2. ややそう思う | 3. あまりそう思わない |
| 4. 全くそう思わない | 5. 分からない | |

アンケートは以上となります。

多数の質問にも関わらずご協力いただき、誠にありがとうございました。